日刊建設通信新聞（2026 年 8 月 19 日付 3 面掲載）

【アサノ大成基礎エンジ　ホーチミン市工科大で研究発表】

ホーチミン市工科大で研究発表

アサノ大成基礎エンジ



アサノ大成基礎エンジニアリングは、ベトナムのホーチミン市工科大学で9回目となる日越ジョイントワークショップを開いた＝写真。中期経営計画で掲げる海外事業の強化に向けたグローバル人材育成の一環となる。「スマート地盤工学とサステナブル基礎工学・技術革新と現場への適用」をテーマに全5編の研究発表を行い、大学関係者や参加者との活発な意見交換を通じて、日越双方の技術交流を深めた。

同社は「ハノイにおける地中熱ヒートポンプを活用した建物冷房の性能評価」「リアルタイム斜面崩壊監視システムATK−SAMS」「斜面防災記録の高度化・UAVレーザー測量と目視点検の比較」の3編を発表した。

同社は「今後も海外大学や研究機関との連携を強化し、技術交流や共同研究を通じて、グローバルに活躍できる技術者の育成と技術力の向上に取り組む」としている。